

令和4年度進行管理・評価シート
津山市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更認定日 令和4年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

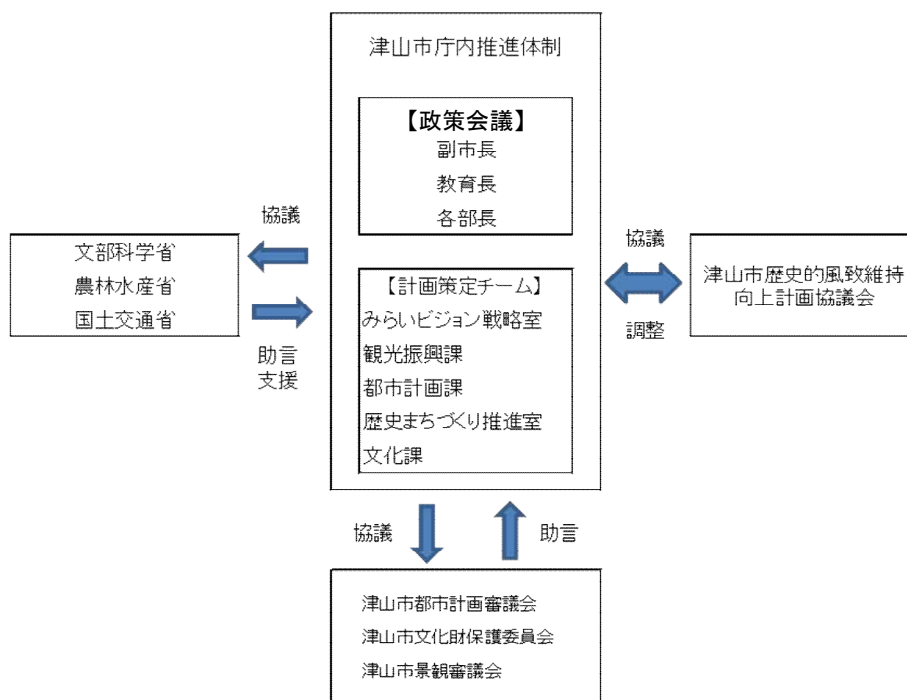
①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡津山城跡保存整備事業	3
2 苅田家住宅及び酒造場修理事業	4
3 宮川門跡地整備事業	5
4 京橋門跡地整備事業	6
5 鶴山館保存整備事業	7
6 作州民芸館保存活用事業	8
7 知新館保存整備事業	9
8 伝統的建造物群保存地区保存事業	10
9 防災設備整備事業(城東地区)	11
10 歴史的風致維持向上事業(城東地区周辺無電柱化)	12
11 歴史的風致維持向上事業(側溝整備)	13
12 城下町並保存対策事業(城西地区・武家地地区)	14
13 津山だんじりの保存・継承事業	15
14 史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業	16
15 衆楽園(旧津山藩別邸庭園)保存整備事業	17
16 まちなかサイン整備事業	18
17 安岡町押入線(1006号線)道路改良事業	19
18 城下多目的広場整備事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定	21
2 文化財の保存修理・防災	22
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 津山城石垣修理工事 現地見学会	24
2 翁橋 選奨土木遺産に	24
3 第23回全国近代化遺産保存活用連絡協議会津山大会	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 津山の魅力向上、観光客増加及び経済的な波及効果	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教委で構成される「歴史的風致維持向上計画協議会」に諮り協議した。同協議会の開催は文化庁、国土交通省等の関係機関の指導・助言を得て行った。計画の追加、修正等の際には、同協議会の意見を求めながら行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
津山市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、取り組み状況の報告及び計画変更等について協議を行った。 ・令和5年2月10日 令和4年度事業の進行管理・評価及び計画変更			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		庁内の横断的な計画策定チームによる検討による情報共有や計画に対する共通認識を図りながら進行管理を行っていく。市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護審議会、まちづくり協議会など関係機関と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。	

状況を示す写真や資料等



津山市歴史的風致維持向上計画協議会(R5.2.10)の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 ①津山市都市計画マスタープランとの連携 ②津山市景観計画との連携 ③重要伝統的建造物群保存地区の保存修理・修景		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)や衆楽園、城東地区、城西地区、田町など、津山市らしい良好な歴史的景観の保存と新たな都市景観の創出を図る。		
	歴史的建造物の周辺環境の保全を図るため、津山城周辺の高層建物の建設等による景観阻害に対し、景観計画に基づく指導助言を重点的に行う。 「城東伝統的建造物群保存地区」に加え、令和2年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された「城西伝統的建造物群保存地区保存地区」をはじめ歴史的町並みの保全に努め、引き続き良好な景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法に基づく「津山市東一宮地区計画」及び「津山市景観計画」による良好な景観形成誘導を行った。 「津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画」を「同保存活用計画」に改め策定。同計画及び「城西伝統的建造物群保存地区保存地区保存活用計画」「津山城下町武家地保存活用計画」による歴史的な町並みの修理、修景事業の実施。 【定量的数値】※R5.1..20現在 地区計画届出件数13件(前年比12件減) 景観計画届出件数49件(前年比30件減)、うち景観形成重点地区9件(前年比2件減) 伝統的建造物の修理・修景件数 修理14件(前年比3件増)、修景1件(前年比2件減) 武家地の修理・復旧・修景件数 修理0件(前年比1件減)、復旧1件(前年比1件減)、修景1件(前年比1件減) 津山市景観賞の表彰 景観賞2件、奨励賞1件、審査員特別賞1件(応募数8件)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等

3. 景観形成重点地区・景観重要公共施設



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
史跡津山城跡保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～令和7年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	津山城跡においては、史跡津山城跡保存整備計画(第Ⅱ期)に基づき、津山城の本質的な価値である石垣及び虎口通路の保存修理を進め、保存を図るとともに、崩落を未然に防ぐための修理・失われた石垣の復元等についての調査・研究を進め、可能なものについては復元し、環境整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備計画に基づき、虎口通路整備及び石垣修理を中心に進めている。令和4年度は二の丸東側石垣解体修理工事(最終年度)を完工した。また、工事の状況を広く知ってもらうため、現地見学会の開催と、工事の様子を随時市のフェイスブック上で公開をおこなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
二の丸東側石垣解体修理工事現地見学会 第1回 令和4年7月3日 第2回 令和5年3月11日			
			
二の丸東側石垣解体修理工事完成			
			
第1回現地見学会の様子		第2回現地見学会の様子	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
荻田家住宅及び酒造場修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	保存活用計画は現在策定中であるが、平成10年に水害により浸水しており、床面の凸凹が著しく、早急な保存整備工事が必要である。連続して残る荻田家町家群の本瓦の底が構成する町並み景観は津山で唯一のものであり、地域活性化のために保存修理するとともに、将来世代へ継承し地域に賑わいを生む施設として整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「旧荻田家住宅(10棟)」が平成28年7月25日付で国の重要文化財に指定された。 平成29年度に津山市旧荻田家住宅保存修理活用検討委員会を立上げ、今後の修理に向けた検討に着手した。 その後、事業化に向けた、文化庁との協議や、主任技術者の確保を行い、令和4年度には同検討委員会(年間2回)を開催、建物調査(軸組図作成・地盤調査)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧荻田家住宅 外観



旧荻田家住宅保存修理活用検討委員会



旧荻田家住宅 修理工事に向けての現地指導

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
宮川門跡地整備事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成22年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 宮川門跡地については、宮川門を構成する石垣60mの内、約20mの修理が終了しているの、残りについて修理・復元を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物指定(令和4年1月1日付)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している☒計画どおり進捗していない

残りの石垣修理については未実施で、新規事業化が必要。
未整備部分の石垣北側の土地について、令和2年度に公有化済み。

状況を示す写真や資料等

位置図

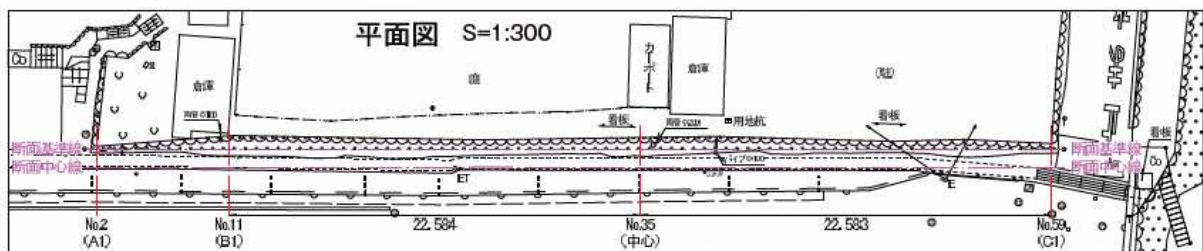


- ①本丸 ②二の丸 ③三の丸 ④堀 ⑤堀の段 ⑥堀の馬場 ⑦堀の池
 ⑧堀の池 ⑨堀の池 ⑩堀の池 ⑪堀の池 ⑫堀の池 ⑬堀の池 ⑭堀の池 ⑮堀の池 ⑯堀の池 ⑰堀の池 ⑱堀の池 ⑲堀の池 ⑳堀の池 ㉑堀の池 ㉒堀の池 ㉓堀の池 ㉔堀の池 ㉕堀の池 ㉖堀の池 ㉗堀の池 ㉘堀の池 ㉙堀の池 ㉚堀の池 ㉛堀の池 ㉜堀の池 ㉝堀の池 ㉞堀の池 ㉟堀の池 ㊱堀の池 ㊲堀の池 ㊳堀の池 ㊴堀の池 ㊵堀の池 ㊶堀の池 ㊷堀の池 ㊸堀の池 ㊹堀の池 ㊺堀の池 ㊻堀の池 ㊼堀の池 ㊽堀の池 ㊾堀の池 ㊿堀の池

第3図 津山城跡略平面図(津山市史第3巻より、一部改変)



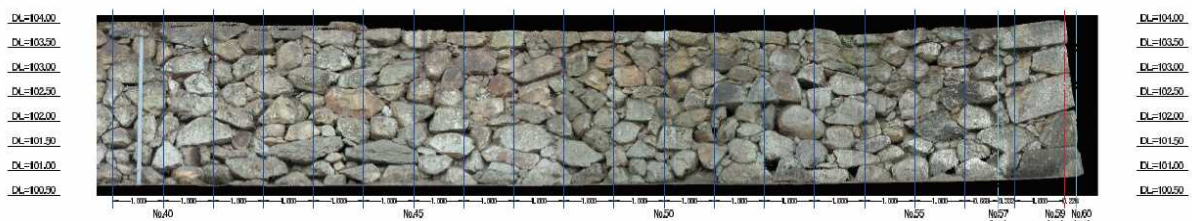
宮川門石垣 外観



整備部分 20m

未整備部分 40m

宮川門石垣整備範囲



宮川門石垣の調査写真

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
京橋門跡地整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	京橋門跡地については、公園整備は平成29年度に終了したが、一部石垣を隠している建物が残っており、この部分の土地を購入し建物を撤去する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度で公園整備工事を完了したが、石垣東面について既存建物が所在し景観を阻害している。今後も引き続き公有化、整備が必要で、新規事業化も併せて必要。 歴史的風致形成建造物指定(令和4年1月1日付)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		現存する東面の石垣が見えるよう、整備するため土地取得が課題であり、また津山城の大手の入口としてわかりやすい表示を行うことも課題となっている。	
状況を示す写真や資料等			



整備された京橋門跡



京橋門跡整備範囲(朱線は当初案)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
鶴山館保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	地方創生交付金(令和4年度)		
計画に記載している内容	津山城跡の三の丸に移築されている、旧藩校の建物である鶴山館を保存活用して、津山城跡のガイダンス施設に整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度に、建物に関する現況調査や公式図面の作成を主目的とした調査を県建築士会(岡山ヘリテージマネージャ機構)に委託して実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	旧津山藩に由来する数少ない貴重な建造物であり、建物自体の保存・継承が第一義的な目的となる。ただし、活用の方向性について全庁的に合意を得たうえで具体的な保存計画を立案することが必須条件であり、関係部局の合意形成が課題かつ早急に求められる。		
状況を示す写真や資料等			
 鶴山館全景			
 鶴山館調査状況(岡山ヘリテージマネージャ機構)			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
作州民芸館保存活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	地方創生交付金(令和2年度～令和3年度)、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(令和4年度)		
計画に記載している内容	登録有形文化財である作州民芸館は、老朽化による雨漏りや耐震、防火に構造上問題があることから修理を行うもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度: 冷暖房更新・カフェスペースに係る実施設計、トイレ改修工事、自動火災報知器整備、多目的広場柵整備の実施			
令和3年度: 冷暖房更新・カフェスペースに係る整備工事			
令和4年度: 屋根・外壁改修に係る実施設計の実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



改修設計(屋根外壁調査)(令和4年度)



改修設計(屋根外壁調査・雨漏り箇所特定)(令和4年度)



自動火災報知器の設置状況(令和2年度)



カフェキッチンの整備(令和3年度)



トイレの改修(令和2年度)



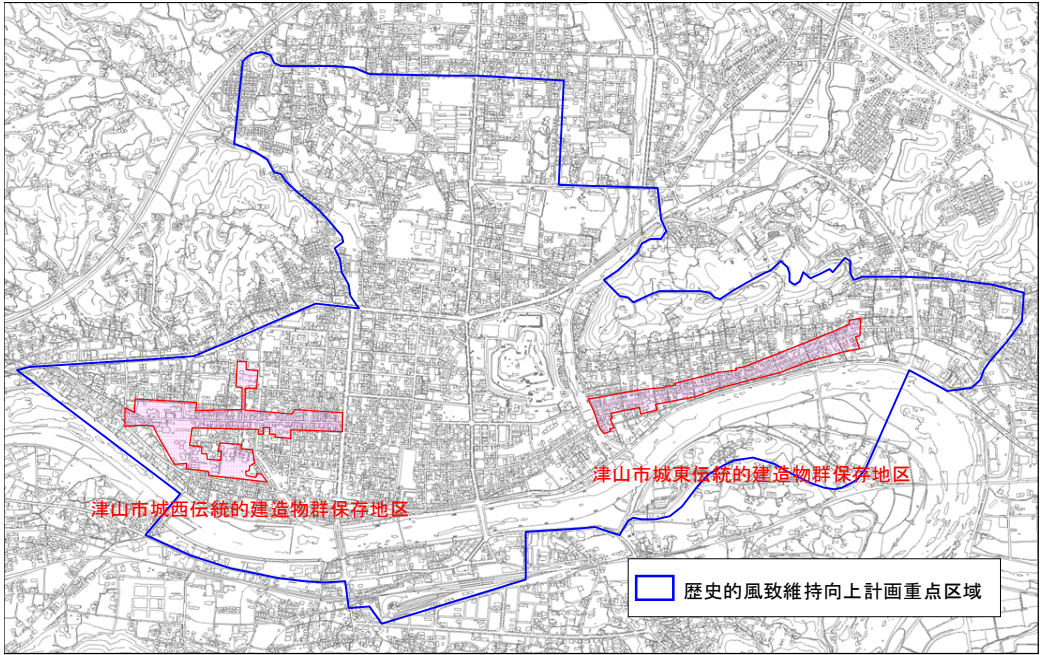
冷暖房更新(令和2、3年度)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

9

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物群保存地区保存事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～令和10年度		
支援事業名	まちづくり交付金 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成21年度～平成25年度) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(平成26年度～) 市単独事業		
計画に記載している内容	国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された城東地区と城西地区の歴史的風致を後世に継承していくため、伝統的建造物の修理や新しい建造物の修景を進め、町並み景観の維持向上に取り組むことで、地域の個性を活かした持続可能なまちづくりを目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な町並みの修理、修景事業の実施 令和4年度 伝統的建造物の修理・修景件数 修理14件、修景1件(城東:修理8件、修景0件、城西:修理6件、修景1件) 平成26年度から累計(修理58件、修景13件)(城東:修理54件、修景11件 城西:修理4件、修景2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	修理・修景の補助待ちの状態が続き、十分な予算確保が課題。出雲往来沿いから見える修理・修景を優先することで事業効果を高めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
修理前		修理後	

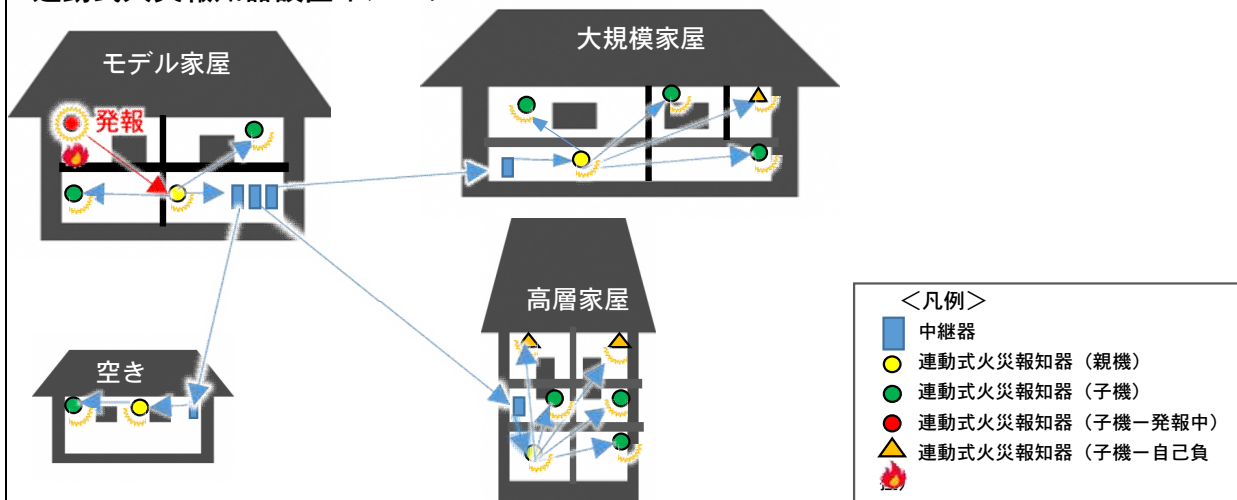
評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
防災設備整備事業(城東地区)			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和2年度、令和4年度) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(令和3年度、令和4年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	津山市城東伝統的建造物群保存地区では、平成30年度に防災計画を策定し、その防災計画に基づき、消防設備等の設置を推進するなど、防災力向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度:城東地区防災設備整備計画の策定(橋本町～東新町) 令和2年度:城東地区防災設備整備計画の策定(上之町) 令和3年度～:防災設備整備(R3橋本町、R4林田町・勝間田町、R5中之町、R6西新町、R7東新町-R5以降予定) 令和4年度:持ち運び式簡易水道消火装置の整備(城東伝建地区内5基)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		防災対策の具体的な取組みの実施については、限られた財源を有効に活用する観点から優先順位を設定し計画的に実施していく。	

状況を示す写真や資料等

連動式火災報知器設置イメージ

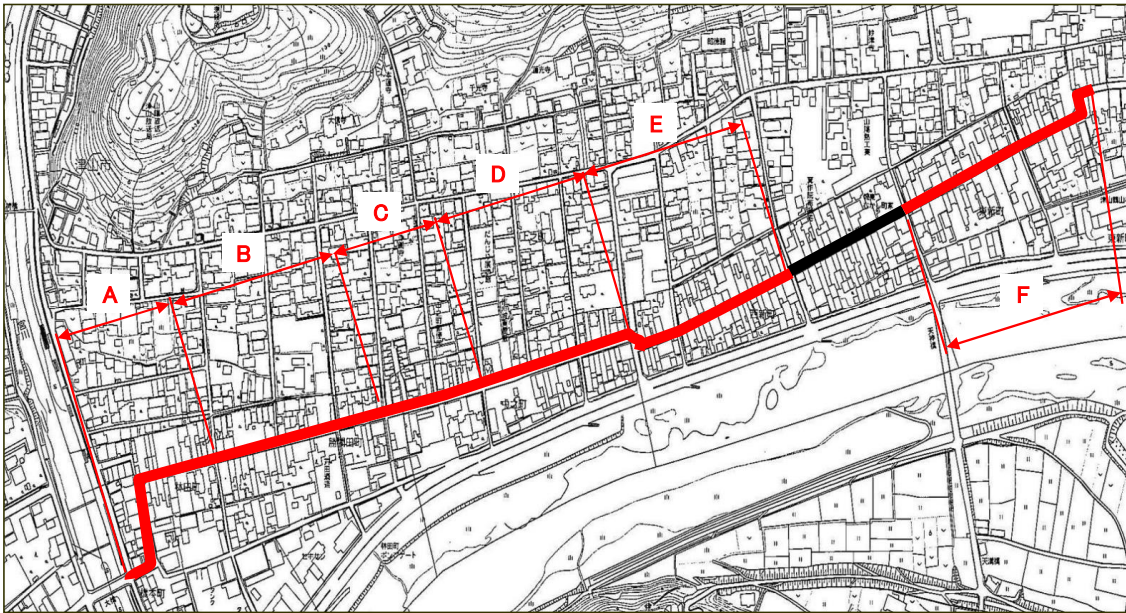


簡易水道消火装置 (R4年度設置)



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歴史的風致維持向上事業(城東地区周辺無電柱化)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成21年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成21年度) 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年) 市単独事業		
計画に記載している内容	城東地区の旧出雲往来沿線は、城下町津山の面影を残す町家の保存度、連担性高い地区であり、歴史景観地区にふさわしい道路空間の整備を行うことにより、町並み保存の推進と観光客の増加による地域の活性化を図ることができる。 城東地区では、洋学資料館前の約130m区間の無電柱化(電線類地中化方式)を実施済である。残りの区間についても伝建地区の整備にふさわしい工法を検討したうえで実施するもの。 まずは全体調査・事業計画を策定し、残り1,050mを年次的に順次整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度には庁内会議にて事業の進め方について協議を始めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	地下埋設物が輻輳しており、電線類の埋設スペースを確保することが難しい区間が多く、施工性や経済性に課題がある。また、道路幅員が狭小な割に自動車等の交通量が比較的多く、施工時の長期的な通行規制による地元住民等への負担が大きい。		
状況を示す写真や資料等			
			
無電柱化実施検討エリア図			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

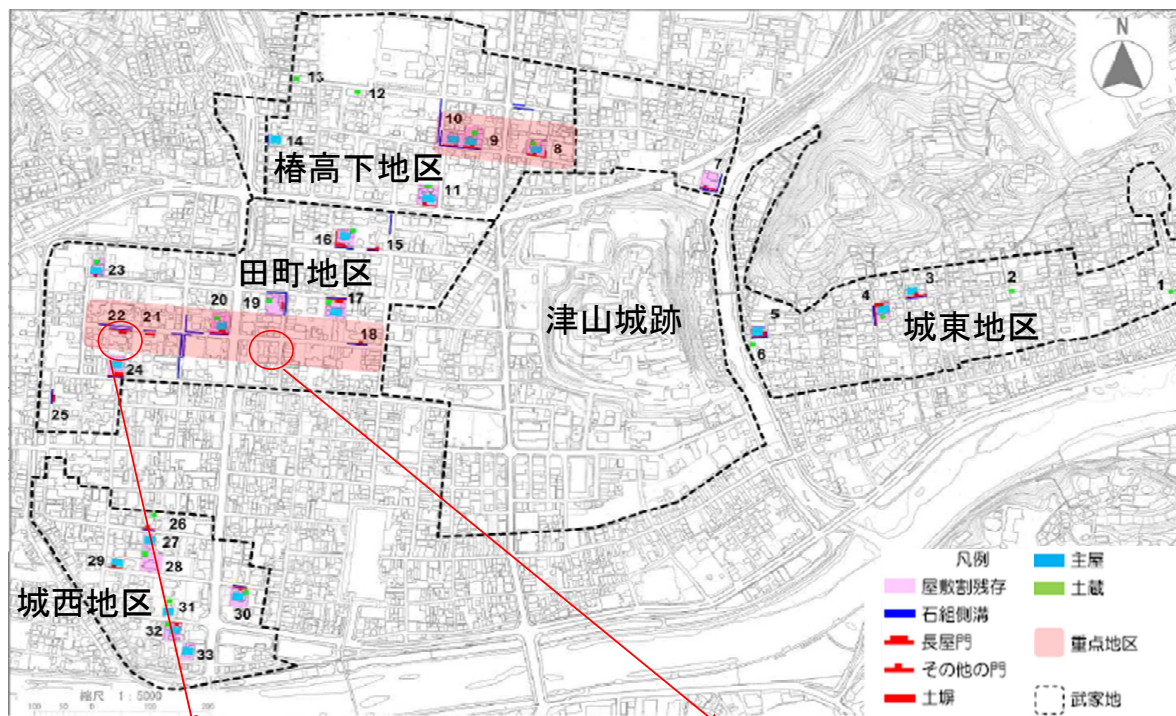
項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
歴史的風致維持向上事業(側溝整備)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和3年度～)		
計画に記載している内容	城東、城下、城西地区は城下町津山の面影を残す町家の保存度が高い地区であり、歴史景観地区にふさわしい側溝整備を行うことにより、町並み保存の推進と道路の景観及び安全性の向上を図り、観光客による地域の活性化を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的町並み景観の統一と良好な市街地環境の整備を図るため、令和4年度は、東新町の178m区間で下水道工事と合わせて側溝整備事業を実施。令和5年度側溝整備着手に向け、城西地区と城下地区の測量設計を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	城東・城西重伝建地区内の側溝については、沿道家屋の修理・修景事業や無電柱化等の事業との調整が必要となっており、工法や実施時期の調整が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
工事前(城東地区)		完成時(城東地区)	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

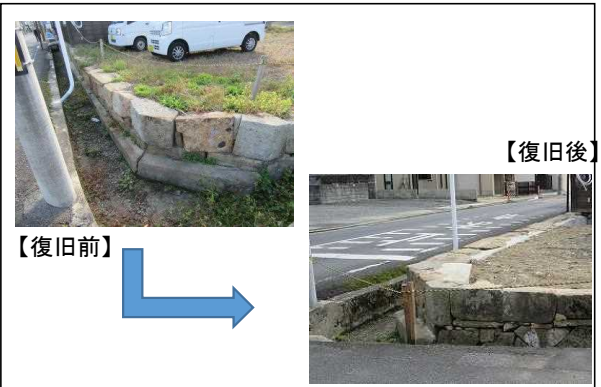
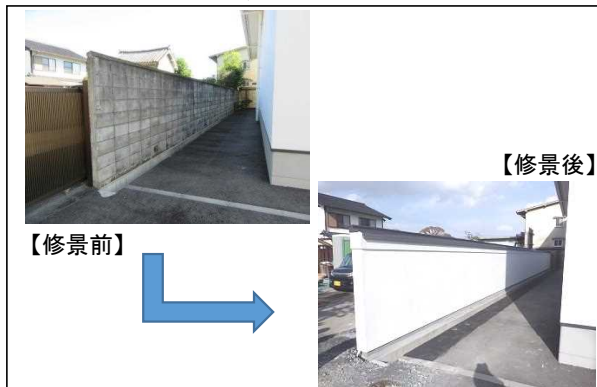
令和4年度	
項目	現在の状況
城下町町並保存対策事業(城西地区・武家地地区)	
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成27年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成27年度～令和7年度)市単独事業
計画に記載している内容	城西地区には歴史的建造物が多く残っており、津山市町並み保存助成制度を活用して保存修理することにより、歴史的資産の継承と観光資源として活用を目指す。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
「武家地保存活用計画」及び「景観計画」による歴史的な武家地の町並みの修理、修景事業の実施。 令和4年度の武家地の修理・修景件数 復旧1件、修景1件 平成28年度から累計(修理3件、復旧1件、修景4件)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	老朽化が進んだ武家屋敷が多く、取り壊しも進んでいることから保存対策を早急に実施する必要がある。武家地だけでなく伝建地区周辺部など保存エリアの拡大を検討する。

状況を示す写真や資料等



修景(田町地内:塀の修)

復旧(田町地内:石積の復)



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
津山だんじりの保存・継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成10年度～令和7年度		
支援事業名	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業、県費補助事業 市単独事業		
計画に記載している内容	津山の固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりそのものの整備を行い、歴史的風致を維持向上する。だんじり等の伝統文化の適切な維持管理を行い、だんじりの保存・継承と、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、個々のだんじりについての対応は特に行っていないが、文化財だんじりの保管庫の老朽化に伴う移転・再整備について、地元からの要望に伴って引き続き対応を検討している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

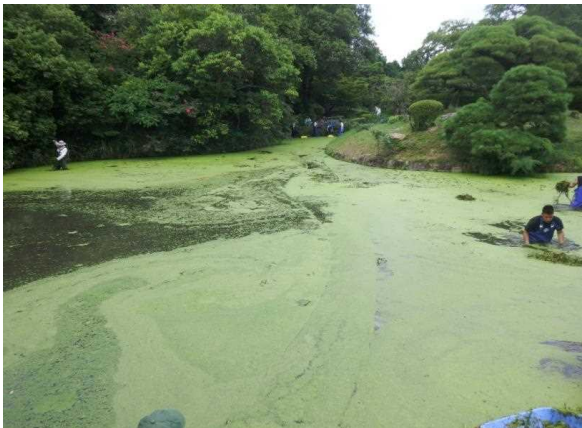
評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成22年度～令和元年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	「日本の歴史公園100選」「美しい日本の歴史風土準100選」にも選ばれた鶴山公園(津山城跡)の桜の保護・補植により、重点区域の核となる津山城跡の景観向上が図られることで、津山まつりにおけるだんじりルート of 歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桜の植樹、斜面の自然樹木の伐採・法面整備 城跡の景観整備のため城内の樹木伐採を行うと共に、桜の老朽対策として樹勢回復と腐朽の進んだ老木の伐採と病気に罹った部位の除去また補植を行い、樹木景観の整備を行なうもの。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 植樹 伐採 樹勢回復			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

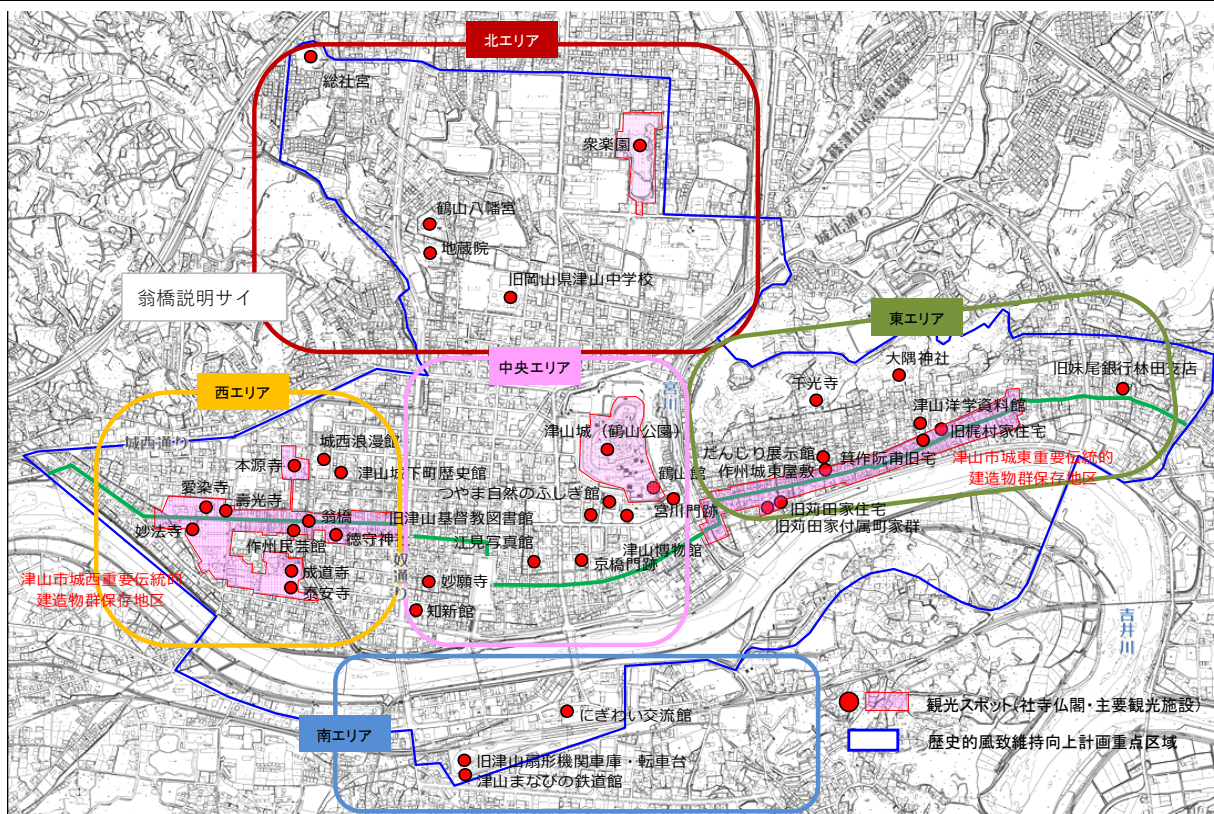
項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
衆楽園(旧津山藩別邸庭園)保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「曲水の宴・俳句会」の舞台でもある名勝「旧津山藩別邸庭園(衆楽園)」(明暦3年(1657)、津山藩2代藩主森長継が京都の仙洞御所を模して造らせた大名庭園)について、庭園植栽の保存整備などの適切な維持管理により、城下町と往来の歴史的風致を維持向上するとともに、庭園の管理技術の継承につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庭園植栽の保存整備、園内建造物(迎賓館、余芳閣、風月軒、清涼軒)の改修、樹木保存管理計画作成			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
松のこも巻きの様子		園内草刈り・剪定作業の様子	
			
水質浄化機器設		上池の浮草撤去の様子	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
まちなかサイン整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和3年度～令和7年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	市内に設置されている観光案内標識の統一化により、城東、城下、城西地区を訪れる観光客の利便性と回遊性の向上を図るとともに、城下町にふさわしい落ち着いた景観形成の誘導を促すことで歴史的風致全体の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度	デジタルサイネージを3基設置(津山観光センター、城東観光駐車場、作州民芸館)		
令和4年度	歩行者系エリア案内サインの設置2基(衆楽公園、津山駅前駐車場)、表示面更新を2基(衆楽公園、鶴山公園) デジタルサイネージの設置 1基(津山駅) 説明サインの設置 1基(翁橋)		
進捗状況	※計画年次との対応		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		整備ガイドライン(整備方針)を策定し、道路用標識と歩行者用標識のあり方を検討する。 城下町にふさわしく落ち着いた中にも、標識としてのわかりやすさを備えたデザインへの転換を図る。多言語化に対応したデジタルサイネージの導入を図る。(令和3年度～)	

状況を示す写真や資料等



総合案内サイン・エリア案内サイン(衆楽)



説明サイン(翁橋)



デジタルサイネージ(津山)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
安岡町押入線(1006号線)道路改良事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和7年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成25年度～令和2年度、令和6年度～7年度)市単独事業		
計画に記載している内容	住宅が密集し、線形不良や幅員が不一致の生活道路である安岡町押入線(1006号線)道路整備において、歴史的な町並みが残る城西地域の景観形成に配慮した道路及び小公園を整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度～平成29年度:城西道路の用地測量、物件調査の実施 平成29年度～平成30年度:用地買収・補償10件 令和元年度:用地買収・補償5件 令和2年度:改良工事発注 令和3年度:上記工事実施(施工延長88.0m、計画幅員24.5m) 令和4年度:今後の整備内容の検討			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		道路整備は令和3年度の工事で概ね完了。残工事は令和5年度以降に実施予定。 小公園は、地元町内会と整備内容について協議を進め令和5年度以降の着手を目指す。	
状況を示す写真や資料等			



歩行者系サイン



工事完成(北から)



工事完成(南から)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度	
項目	現在の状況
城下多目的広場整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和4年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和4年度～令和5年度)
計画に記載している内容	津山国際ホテル跡地は重点地区の核となる津山城跡の直下に位置し、勇壮な城跡を背景に歴史的風情を感じられるロケーションであり、人々の憩いと交流の場となるよう多目的広場を整備する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
津山国際ホテル跡地の整備方針を示した「津山城下まちづくりビジョン」を令和4年8月に策定した。 令和4年度に行う測量・実施設計業務については、入札の関係で発注時期が遅れ、令和5年度に繰り越すことになった。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	測量・実施設計の後、隣接する民有地の取得を行い、令和5年中には多目的スペースや駐車場等を含む広場を整備する予定。
状況を示す写真や資料等	

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の調査・指定		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 未指定の文化財等の修理、整備に関しても事前に十分な調査等を実施し、稚拙な修理、整備によってその価値が損なわれないよう計画段階で十分な配慮を行うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国名勝 旧津山藩別邸庭園(衆楽園) 建物の蟻害・腐朽調査
 高野山根1号墳(市指定史跡佐良山・剣戸塚古墳群と中宮1号墳のうちの1基)発掘調査の実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



白蟻調査【衆楽園】

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化財の保存修理・防災		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を損なわないために、関係機関と事前に十分な協議、検討を行うものとする。また、県、市指定の文化財等についても、その根拠条例等に基づき文化財としての本質的な価値を毀損しないよう、適正な措置を行う。屋内消火栓や放水銃等の消火設備や避雷針設備等の防災設備の設置を推進し、火災被害の軽減を図る。さらに広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民、消防署が一体となった防災訓練を定期的実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定重要文化財 中山神社惣神殿保存修理事業 市指定重要文化財 旧妹尾銀行林田支店屋根改修工事 国指定文化財総社本殿防災設備整備事業 文化財防火デー関連事業 ・市消防団による文化財防火訓練 令和5年1月22日: 田熊八幡神社(田熊の舞台) ・圏域消防組合による文化財防火査察 令和5年1月24日: 妙願寺、知新館、1月25日: 作楽神社(院庄館跡)、1月27日: 泰安寺、本源寺			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 市指定重要文化財中山神社惣神殿工事状況		 監修状況(旧妹尾銀行林田支店屋根修理工事)	
 総社本殿防災設備設置工事実施状況		 文化財防災訓練(田熊八幡神社)	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存及び活用の普及・啓発		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 文化財の存在と価値について広く理解を得るため、文化財の公開に努め、誰もが文化財を気軽に見学し親しむことのできる機会を設定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津山郷土博物館常設展示、津山弥生の里文化財センター企画展「桑山南4号墳の発掘調査」の開催、第39回津山市文化財調査報告会の開催。また第23回全国近代化遺産保存活用連絡協議会津山大会を開催し、鉄道などの近代化遺産の保存と活用について理解を深めた。
 翁橋レンガ調査や知新館改修のタイムラプス動画をSNSやYouTubeで発信しました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



津山弥生の里文化財センター企画展「桑山南4号墳の発掘調査」の開催



文化財調査報告会



第23回全国近代化遺産保存活用連絡協議会津山大会



知新館の修理工事のタイムラプス動画



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
津山城石垣修理工事 現地見学会		R4.7.5	山陽新聞
翁橋 選奨土木遺産に		R4.10.4	朝日新聞
第23回全国近代化遺産保存活用連絡協議会津山大会の開催		R4.11.22	津山朝日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物や近代化遺産の積極的な保全と活用、歴史的町並みの保全等、津山市の歴史的風致維持向上に関する取り組みにより、地域のまちづくり活動の活性化が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

[illegible]

津山城跡石垣修復工事見学会(R4.7.5 山陽新聞)

[illegible][illegible]

全国近代化遺産活用連絡協議会津山大会(R4.11.22津山朝日新聞)

翁橋 選奨土木遺産に(R4.10.4朝日新聞)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

津山の魅力向上、観光客増加及び経済的な波及効果

計画に記載している内容 史跡津山城跡や城東地区の重要伝統的建造物群保存地区を中心とした歴史的景観や町並み、そこで行われている人々の活動を活かしたまちづくりを行い、歴史的風致を維持向上していくことは、津山市民の多くが残したいと望む津山城跡を中心とした歴史的景観の保全などにつながることも津山の魅力を高め、観光客増加やそれに伴う経済的な波及効果が期待できる。

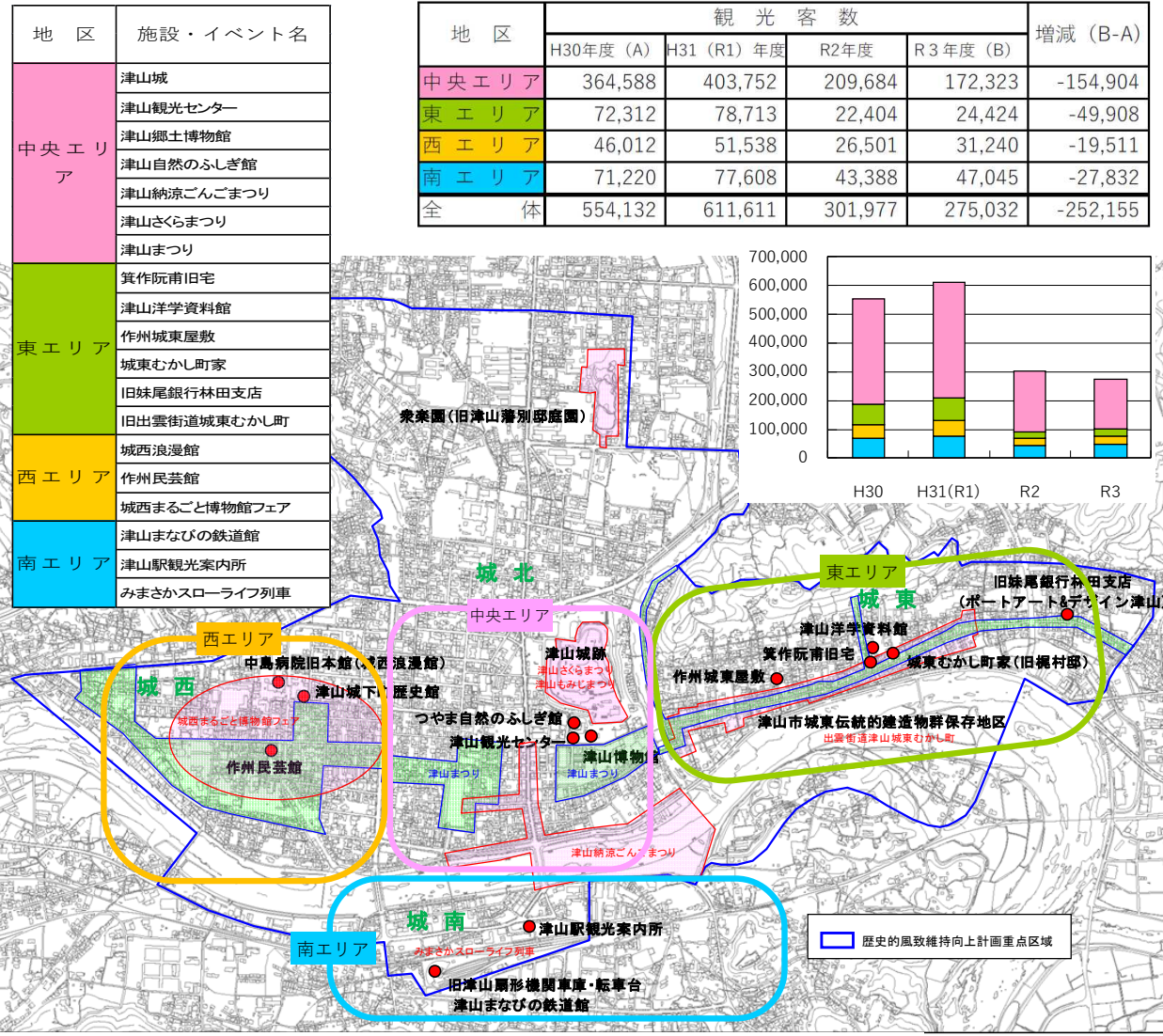
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和3年度の城東、城西、城北、城南地区の主要施設への入り込み客数、及び主要イベントの観光客数は275,032人。平成30年度比で約半減。しかし、中央エリアを除く東西南エリアにおいては前年比で微増している。
観光ホームページも観光客数と同様の傾向で減少している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
新型コロナウイルスの影響が大きく、主要なイベントの中止が大きな減少要因となっている。コロナ禍以前の観光客数とホームページのアクセス数を比較すると、観光客の落ち込みほどにホームページアクセス数が落ち込んでいないことから、津山に観光に訪れたいと考える人の潜在数は多いと期待できる。

状況を示す写真や資料等



津山市公式観光サイト「つやま小旅」アクセス数の推移(件)

H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
1,045,286	1,097,102	1,736,258	1,423,950	1,414,282

津山市公式観光サイト つやま小旅

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開 令和5年2月10日金曜日 午後1時30分～3時	
(コメントの概要) (1)評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策 景観賞の景観活動部門について、衆楽園の管理は本来市が行うことでは？ (2)評価軸③-1 史跡津山城跡保存整備事業 津山城の石垣の耐震性はどうか？ (3)評価軸③-2 苅田家住宅及び酒造場修理事業 今後の見通しは？ (4)評価軸③-6 作州民芸館保存事業 どのような耐震修理を行っているのか？不特定の人に利用してもらう施設なのでなんらかの対処が必要では、 (5)評価軸③-11 歴史的風致維持向上事業(側溝整備) 令和5年度に着手することになっている城西地区ではどのような整備を行うのか？ (6)評価軸③-11 歴史的風致維持向上事業(側溝整備) 道路舗装をオーバレイし続けた結果、家より道路の方が高い場所ができていいるなどかならないか？ (7)評価軸③-13 津山だんじりの保存・継承事業 だんじり保管庫について、10台が市内の八子の地に保管されているが、建物が雨漏りするなど老朽化が進んでいる。だんじりを安全に保存するために、どう考えているのか？ (8)評価軸③-18 城下多目的広場整備事業 国際ホテル跡地の場所だが、どのようなビジョンを持っているのか？同ホテルにあった庭園も活かされるのか？ (9)評価軸③-14 史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業 桜の老木対策は？根が張って法面への影響は？ (10)その他 翁橋の舗道レンガが土木遺産に選奨されたことを機に、看板や舗装の整備と合わせて行った、レンガを見られる強化ガラスが曇って見えにくい。	
(今後の対応方針) (1)市としても清掃は行っているが、今回は、市民だけでなく、市の職員も参加した協働事業であったと認識している。 (2)城の石垣の耐震性について定まったものはないが、津山城の場合、石垣の裏は地山となっていること、石垣の一番下に根石がしっかりあるなど、問題ないのではないかと考えている。 (3)詳細な図面ができたので、来年度以降、耐震診断・修理にかかり、修理完了は10～15年は係と考えている。 (4)雨漏りを重点的に行っていて、耐震修理まで手が回っていない。登録有形文化財でもあるので、文化財を守りながらも、安全にも気を配って修理していきたい。 (5)既存側溝に並行して新設側溝を整備する予定。豪雨時に同エリア東側への排水が滞ることためその解消を目的としている。家の基礎になっている古い石組み部分もある古い側溝は、土で埋めるなど、なんらかの形で保存する方が必要と認識している。どのような仕上がりになるかは、無電柱化やカラー舗装の工事のあり方を含めて今後検討していくこととなる。 (6)今後の無電柱化の議論と合わせた協議をしていかなければいけない。城東地区でも過去に同じようなことがあったが、一軒ずつ家の高さが違うので、道路のレベルを下げる方法しかないのではないかと考えている。 (7)だんじり保存会の皆さんには、八子にある10台の保管庫については、市が適地を紹介するが、建物は同会自身で建てることを了解いただいている。現在、市では適地を選定中であり、できるだけ早く提示させていただきたい。 (8)具体的な内容は近く示される予定だが、単に広場に作るだけでなく、森本記念館や自然のふし館などの施設と連携した整備方針になると聞いている。庭園は、調査を行い、価値付けをして何らかの活用をしていきたい。 (9)年々桜の数が減ってきている中、計画的に植樹をしている。現状で法面や石垣に大きな影響を及ぼしているものはないと考えている。 (10)文化財保存の業界ではなかなか難しい技術で、蒸気などが原因で結露し、なかなかうまく見せられない。今後の課題と考える。	